

研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE※) (内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

令和5年度予算額 555億円の内数 (100億円を充当)

(4年度予算額 555億円の内数)

※programs for Bridging the gap between R&d and the Ideal society (society 5.0) and Generating Economic and social value

目的・事業概要

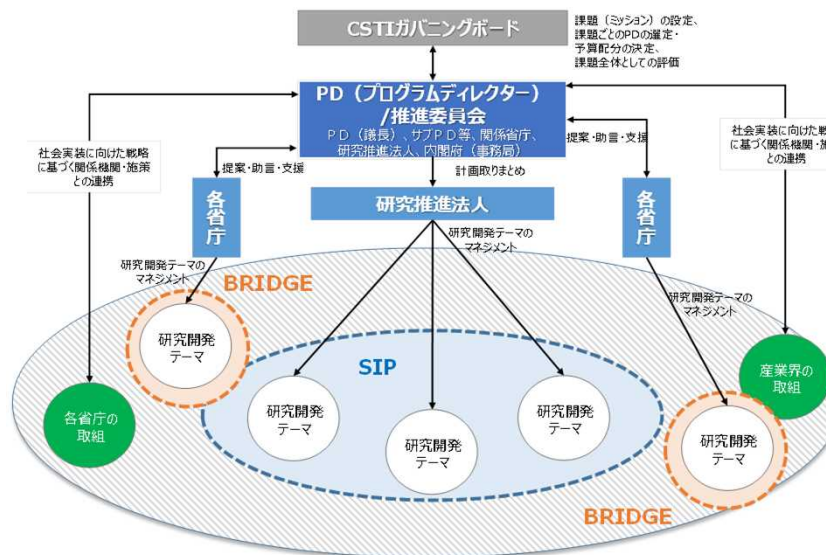
【目的】

- 総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) がイニシアティブを取って、官民研究開発投資拡大が見込まれる領域における研究開発等を推進するため、各省庁における取組の実施・加速等に取り組む。
- SIPとの一体的な運用を推進し、研究開発とSociety 5.0を橋渡し。

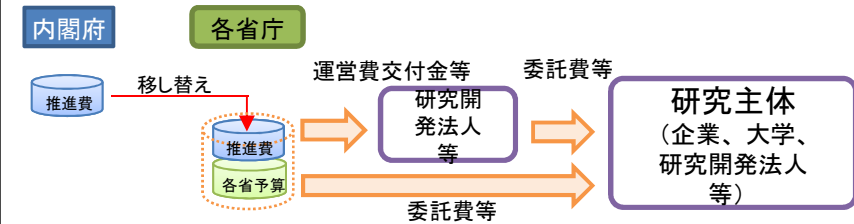
【事業概要】

- 統合イノベーション戦略等に基づき、CSTI の司令塔機能を生かし、革新技术による社会課題解決や新事業創出の推進につながる「重点課題」(例:スタートアップ事業創出、国際的に活躍する若手人材の育成、SIP成果の社会実装等)を設定し、各省庁の研究開発等施策のイノベーション化を推進(研究開発型)。
- 中長期的に官民研究開発投資の拡大を図るため、地域中核大学における民間資金獲得の推進、新SBIR制度における省庁連携の加速等を実施することにより、官民の研究開発投資を誘発(システム改革型)。

<BRIDGE研究開発型の推進体制>



資金の流れ



期待される効果

- (研究開発型) 各省庁施策のイノベーション化により、革新技术による社会課題解決や新事業創出を推進するとともに、官民研究開発投資の拡大又は財政支出の効率化に資する。
- (システム改革型) 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による大学等に対する企業の投資額の増大、新SBIR制度の加速等。